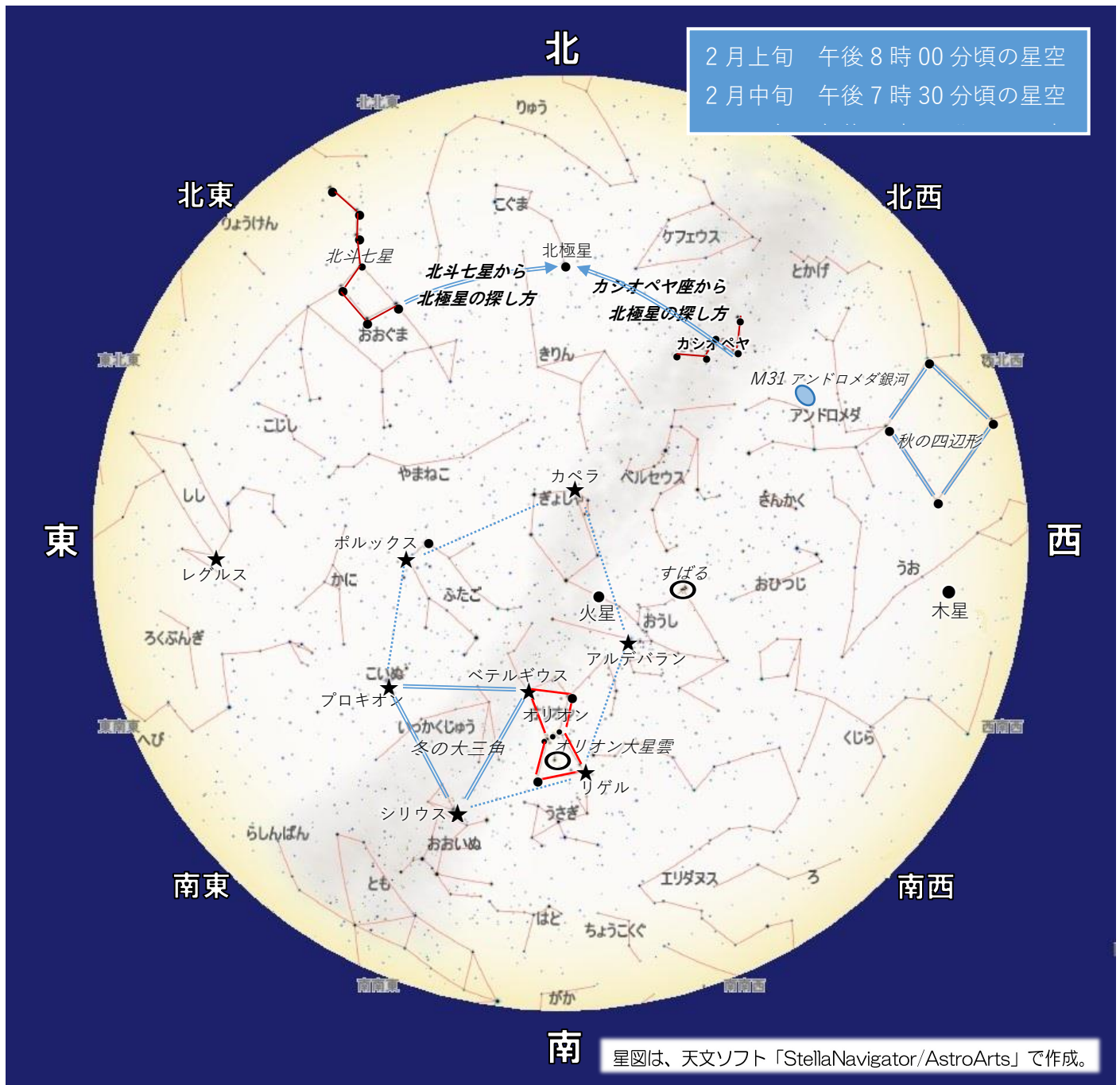


2023年 2月の星空案内



【2月の星空】

冬の星座たちがひとときわ明るく輝いています。オレンジ色の「ベテルギウス」と白い「リゲル」2つの1等星をもつ「オリオン座」は冬の代表です。「ベテルギウス」と、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」を結びと『冬の大三角』ができます。

さらに「ポルックス」、「カペラ」、「アルデバラン」、「リゲル」とつないでできる六角形を、『冬のダイヤモンド』と呼びます。

【「よいの明星」金星と火星】

昨年末から夕方の西空に見え始めた金星は、2月には日没時の地平高度が20度をこえ、7月中旬まで「よいの明星」として目立ちます。このあと6月4日の東方最大離角で半月型に、7月10日の最大光度のころには三日月型に、形を変えていく様子は小型の望遠鏡でも観察できます。

2月22日には、夕空に月齢2の細い月と金星が接近し、その上に木星も輝きます。

昨年12月1日に最接近した火星ですが、まだ0等級程度で冬の星座の中に輝いています。ベテルギウスやアルデバランと赤さを比べてみるのも面白そうです。